

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191000025		
法人名	医療法人中山会 グループホーム冬桜		
事業所名	グループホーム冬桜 1F		
所在地	北海道江別市大麻東31番地5		
自己評価作成日	令和5年9月12日	評価結果市町村受理日	令和5年10月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0191000025-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和5年9月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境に恵まれた住宅地に立地しております。近隣には銀座商店街があり各種医院、飲食店、小学校が隣接している地域になります。コロナの対応が2類から5類に変更になり、ホームとしては令和5年4月より面談室を利用し、面会の機会を確保しています。見学も随時受付しており、対応をしています。令和5年5月の外出行事で1Fは、丘珠空港まで行き飛行機を見てとても喜んでくれました。2Fは、百合が原公園に行き園内を散歩しながら花を楽しんでくれています。7月にはホーム中庭にてバンドの生演奏と歌を唄い昭和の曲を楽しんでいます。9月には、ホーム中庭でBBQを各階で行いました。天気も穏やかでゆっくり楽しむ事が出来ました。例年であれば小学校との交流をしているが、昨年の10月に訪問予定をしていましたが、コロナの影響があり残念ながら中止となりました。室内では、クリスマス会や年末年始の行事、豆まきやひな祭り等の季節を感じて頂ける様にアクティビティや食事も工夫しています。ホームのリビングの壁に季節を感じて頂ける様に、季節毎やクリスマス、ハロウィン等の飾りつけを入居者さんと共に行っています。花壇にも力を入れ、ホームの中からでもお花を楽しめるようにしています。春には桜やチューリップにクロッカスが咲き、夏には百合やラベンダーに紫陽花、秋はコスモス等が咲き、他に薔薇やシャクヤクにマリーゴールド等も咲いてくれています。入居者さんには、普段の生活リハビリとして洗濯干しや洗濯たたみ、テーブルやお盆拭きに食器洗い等、職員と一緒に継続できるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

JR大麻駅から徒歩圏の住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。近くには商店街やスーパー、ドラッグストアなどがあり、公園や遊歩道もあって散策を楽しみやすい。敷地内には広い花壇があり、管理者を中心に丁寧な手入れが行われている。春には庭の桜で花見を楽しむことができる。共用空間の窓から庭を眺めることができ、各階の庭に面したベランダで外気浴することもできる。定期的な往診体制と週1回看護師の勤務があり、利用者の健康管理を適切に行っている。また、積極的にリハビリを行い、利用者の体力維持につなげている。運営推進会議は文書による開催が続いていたが、前々回から参加者が集まっての会議を行い、報告事項の他、計画的にテーマを設定して意見交換している。職員の意見反映の面では、会議を行う前に取り上げてほしい内容を職員がノートに書きこみ、会議で取り上げている。身体拘束の有無の確認や介護目標の達成度合いについても、職員が意見を出しやすい仕組みとなっている。地域交流の面では、感染症流行前は事業所の夏祭りや地域のお祭りで住民との活発な交流があり、小学校とも相互に行き来する交流があった。感染症が落ち着いた後の再開が期待される。快適な環境と丁寧な支援のもと、安心して生活できるグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営母体と理念を共有し「大切な命を元気で楽しい命に」を掲げている。また、行動方針には5項目を掲げており、月2回のカンファレンスで全員で読み上げて共有し、基本方針に沿った支援や実践に向けて取り組んでいる。	法人のグループホーム共通の運営理念と基本方針があり、職員はカンファレンスで唱和し共有している。また「利用者の権利」を定め、その中に「地域の一人として生活する」という文言を入れている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入しています。中庭で桜の下コンサートやBBQを開催しましたが、以前であれば地域の方にも周知し参加して頂いていたが、5類にはなりましたが感染予防の為にホーム無いのみで行っています。	感染症流行前は、事業所の夏祭りに住民が参加したり、利用者が小学校に学習発表会を観に行くなどの交流があった。現在は地域の訪問理美容を利用する程度である。感染症収束後は以前のような交流を再開したいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	令和4年秋に大麻東小学校の来訪を予定していたが、コロナ拡大の為中止、令和5年5月より運営推進委員会を対面で開催し、町内会の方や入居者さんの家族、地域包括支援センターの方にも参加頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	令和4年度は書面での報告、令和5年度からは面談室で開催をしています。事業所報告にてインシデントやアクシデントの報告し、意見等を求めています。ご家族にも議事録を郵送し、意見を求めるようにしています。	会議を2か月ごとに開催している。文書による開催が続いていたが、過去2回は参加者が集まっていた会議を行った。計画的にテーマを設定し、地域包括支援センター、住民、家族などのメンバーが揃っている。議事録を家族に送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	江別市と常に連絡を行っている。不明な点等は電話連絡を行い、色々な事を相談して意見を求めている。	運営推進会議に地域包括支援センターの参加を得て情報提供を受けている。市役所にはケアプラン作成の相談や事故報告など主に電話で連絡を密に取っている。最近では、玄関先の面談室新設の際に市から補助を受けた。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム及び法人マニュアルを遵守している。身体的拘束適正化委員会を開催し、年間で4回以上は必ず開催している。又、読み合わせのマニュアルを作成し、2から3項目を毎日職員間で読み合わせし、意識を向上している。	身体拘束を行っておらず、禁止の対象となる具体的行為を示した身体拘束マニュアルを整備している。適正化委員会で個々に身体拘束がないか詳しく確認している。玄関は施錠しているが、利用者の外出希望があれば、希望に沿って外に出られるよう配慮している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止については、医療法人中山会の介護福祉課にて委員会を立ち上げて進めている。研修でも毎年取り上げて職員の意識向上に勤めている。		

グループホーム 冬桜

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	1Fでは、日常生活支援事業及び成年後見制度を利用している方は居ないです。ですが、入居している高齢者のキーパーソンも高齢の方が増えているので、状況に応じて各制度の声かけを心掛けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な1時間程をかけ、重要事項や契約書等の説明を行っている。又、ご家族での受診(訪問以外)別途かかる料金(リハビリパンや医療費、理美容等)の説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの意見は職員間でカンファレンス等を通じて共有し、ご家族からは個人ノートに記載したり、リーダー及び管理者に報告をしている。内容によっては、カンファレンス等で共有している。重要事項説明書に法人の窓口も設け(個人名)意見を述べやすい環境に努めている。	家族の来訪時や電話をした時、運営推進会議の際に家族の意見を聞いている。家族とのやり取りを利用者ごとのノートに記載し共有している。また、季節ごとに「冬桜たより」を作成し、家族に送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人での会議をMYWebに記載、介護福祉課の会議は主にカンファレンスで周知し、意見等に関しては個別に面談等で話しをしている。	毎月2回のカンファレンスで業務全般の話し合いも行い、活発に意見交換している。会議で取り上げたい内容を事前に職員がノートに書き出している。職員は写真作成、庭の手入れ、備品発注などの業務を分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職務要件書を活用し、自己評価及び管理者からの評価を給与に反映している。実情に応じた勤務時間に対応する為、令和5年7月より勤務時間の変更をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人にて初任者研修、実務者研修、介護福祉士、認知症介護実践者研修、介護支援専門員の取得の為の、金銭的支援を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は、コロナ蔓延防止の為に他事業者との接触は控えている。法人の介護福祉課にて研修を行い、交流の場を設けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族等から本人の情報を頂けるように書面や電話等で出来るだけ情報を頂き、本人が利用開始しても安心できるように対応し、入居後は出来る限り本人とお話をして困っている事や不安を受け止めるように対応している。事前に面談等をしていたが、コロナウイルス蔓延防止の為に面談の回数は極力控えている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族から連絡や来訪があった場合には、できる限り時間を取りお話を聴き、話しやすい環境の提供に勤める事で信頼頂けるように努めている。コロナウイルス蔓延防止の為、電話でのやり取りを主としています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の相談内容、ご本人の状態を確認し、色々な環境を踏まえた上で適切な介護サービス等が受けられるように支援している。時には、他サービスを進める事もある(体が硬いので、訪問マッサージの利用を開始した方もいます)		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯干し、洗濯たたみ、テーブル拭き等できる範囲で声かけで行ってくれたり、一緒に行ったりしている。又、普段の会話から生活の知恵等の話を頂き、対等の関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ蔓延防止の為に家族と共に行う行事は中止しているが、ケアプランの説明時や医療機関に受診する際にご本人の状況を伝え、本人にとってより良い状態への支援を共に行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会室を活用し、家族だけではなく知人等の面会を行っています。電話での対応も行い、居室で話して頂く等のプライバシーにも留意しています。	近所の知人が来訪する利用者や、定期的に友人から電話が来る利用者があり、関係が継続できるよう支援している。通院の帰りに自宅周辺を見に行った利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	申し送りや記録、カンファレンス等から入居者同士の関係を把握し、孤独感を感じないように職員で声かけや他入居者さんとの交流を支えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	定期的にこちらから連絡する事は無いが、連絡があった時には丁寧に対応し、パウロ病院の入院している方に関しては、時折面会をしている(現在は、コロナウイルス蔓延防止の為、面会禁止中)。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話から、その人の思いや願を把握し、家族も踏まえて普段の暮らしに反映している。意思表示が難しい方は、表情等からカンファレンス等で支援の方向を検討し、いくつかの選択肢から家族にお話をして方向性を決めている。	半分ほどの利用者は言葉で思いや意向を表出でき、難しい方場合は表情や仕草から把握している。センター方式のアセスメントを利用開始時に作成しているが、追記や更新は行っていない。	アセスメントシートのうち特に、B-2シート(生活歴)および、B-3シート(暮らしの情報)について、利用開始後に把握した情報を追記したり、変化に応じて更新することを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し、家族に記載して頂いています。他、本人や家族に直接習慣等を伺っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状況や状態については、個人記録を主として1日2回の申し送りで周知し、排便・入浴・体重・バイタルに関しては確認しやすいように別にチェックシートに記載して、共有を図っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個人記録に記号を記載しケアプランと連動している。月に2回のカンファレンスで日々のモニタリングを行い、三ヶ月に一度の割合で書面に起こしている。本人には日々の生活からと、家族からは来訪時に状況報告と意見を頂き、介護計画に反映している。	介護計画を3か月ごとに見直し作成している。計画目標ごとに各職員が意見を出してモニタリング総括表をまとめ、次の計画を作成している。ケアプラン目標を意識しながら日々の記録を作成することとしているが、十分といえない。	日々の記録について、計画目標に関する支援を行った場合は、目標番号を併記したり、目標に関する気づきや利用者の変化を意識して記録することを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人の状態や状況及び、言動も本人の言葉を使い記録し、介護者の言動に関しても記録、一日二回の申し送りで情報を共有、カンファレンス時にはモニタリングを行い、記録にする事で職員間での情報を共有、介護計画に反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主に、突発的な発熱時等家族に連絡を行い対応して頂くが、状況及び状態によってホームの人員で対応、家族が遠方の方や車椅子で移動が必要としている方には、外部サービスを利用した受診も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源として訪問理美容(町内)の利用、薬の処方をつるハドラッグ大店の訪問、買い物をツルハドラッグ大店やトライアル(町内)、医療に関しても大麻高町クリニック、大麻内視鏡内科クリニック、ないとうクリニック、いとう耳鼻咽喉科を状況に応じ受診している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時より主治医の確認をし、継続できるように家族と共同している。体調不良時や転倒時にも家族の意向を踏まえて、受診の検討をしている。状況に応じて状況を書面にし、情報の共有を図っています。	提携医療機関による月1回の往診がある。また、看護師の職員が週1回勤務し、利用者の健康チェックを行っている。他のかかりつけ医は家族対応としている。受診内容を個人毎の「病院受診一覧表」に記載し、共有している。	

グループホーム 冬桜

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護にて皮膚の状態やむくみ等、転倒や体調不良の等相談をしている。転倒や落葉時には、24時間体制で電話で連絡、指示を仰いでいる。パウロ病院の訪問診療時に訪問看護師が同行し、馴染みやすく安心できる体制を築いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、ホームでの生活状況の報告を医療機関に合わせて書面や口頭で行っている。入院中には、定期的に訪問又は電話にて連絡し、退院に向けては情報を頂き、家族とも話し合いを行いながらホームの体制を整えて退院して頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明時や重度化の説明を入居時に行っている。終末期は行っていないので、要介護4又は要介護5になってからは折を見て家族に状況を説明し、ホームの次の事を考えて頂き、本人と家族が納得できるように支援を行っている。	利用開始時に「重度化した場合の対応に係る指針」を説明し同意を得ている。原則は事業所での看取りを行わず、母体の病院などにスムーズに移れるよう支援する旨を説明している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者の急変、事故発生時にはLINEワークを活用し、対応している。普段の連絡でもLINEワークを活用している。玄関の見やすい所にAEDを設置いつでも使いやすく、機能点検も確認しやすくしている。医療法人中山会では、AEDの研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定避難訓練を年に2回行っている。江別消防署や丸興商事と共に訓練を行い、ベルを鳴らし緊急通報も行っている。他、江別市のシェイクアウト訓練にも参加している。	年2回、夜間想定避難訓練を実施し、前回は消防署の指導も得ている。感染症が落ち着いたら住民の参加も得る予定である。救急救命訓練が行われ備蓄品も整っている。地震等のマニュアル整備や対応の共有は十分といえない。	地域の防災ガイドブックなどを参考にして、地震対応マニュアルの作成を期待したい。マニュアルに沿って、初期対応やケア場面別の対応について定期的に話し合うことも期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間で情報共有を行う場合は、部屋番号を活用し(部屋には部屋番号の表示はない)入居者及び外部の方にも配慮をしている。個々の人格を把握し、個別に応じた声かけ対応を行っている。	入職時に、接遇に関する研修を行い、日常的な声かけで人格を尊重できるよう配慮している。申し送りでは部屋番号を使用しプライバシーの保護に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴時の衣類、おやつ、塗り絵等のアクティビティでも選択できるようにし、できる方には自身で選んで頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や就寝時間は、本人のペースと体調に合わせて行っている。食事やおやつは薬の関係もあるので、同じ時間帯で提供している。トイレも個々のタイミングで声かけしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	できる方には衣服を自ら選んで頂き、季節や気温の話しをし時期にあった服を選んで頂いている。		

グループホーム 冬桜

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	現時点では、調理と一緒にするのは困難だが、食事前後のテーブル拭きやお盆拭き、食器洗いを声かけで行っている。ミキサー食も彩りよく盛り付け見た目も楽しめるように工夫している。	外部業者から食材と副食が配達され、カロリーや栄養面で管理している。利用者が食後に食器洗いや片付けなどを行うこともある。簡単なおやつ作りや庭でのバーベキューを楽しむこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食品提供の業者を活用し、バランスの取れたメニューで提供している。水分も、しっかり取れるように声かけや支援を行い、摂取量も確認し統計を出している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨きの声かけを行い一人ひとりに合わせて仕上げ磨きや入歯の手入れ、歯茎のスポンジ清掃を行っている。訪問歯科と密に確認を行いながら歯磨き等の支援も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者全員の排泄を確認し、必要な方には声かけ支援を行っている。残存機能を生かすために車椅子の方でも手すりに捕まって頂いたり、歩行時に介助が必要な方でもなるべく歩いて移動して頂いています。ズボンの上げ下げや上着を押さえてもらう等、出来る事は協力頂いています。	自立している利用者は1割程度でその他は適宜声かけや誘導でなるべくトイレで排泄できるようにしている。排泄記録の他に個別の「排便チェック表」を作成し、また、便秘しないよう配慮している。居室でポータブルトイレを使用したり、ベッド上で衛生材料の交換を支援する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便は、チェック表で確認し排便間隔等に注意している。水分の確保を重視し、食材を多く使って食物繊維等にも気を付けている。医師にも便秘の報告し、個々に薬の調整も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個別入浴で対応し、プライバシーにも留意している。会話したり、浴室・脱衣場の温度にも留意し、快適に過ごせるようにし、次の入浴に繋がるようにしている。入浴順等も確認しながら、快適に入浴して頂いている。	毎日入浴できる体制とし、1人当たり週2回入浴できるようにしている。入浴が楽しみになるよう、入浴時には会話を楽しんだり、好みの入浴剤を用意している。浴槽に入ることが困難な場合は、シャワー浴や足浴などを実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態を把握し、日々の申し送りからその時々状況も共有している。入床時間も一人ひとりの状況や体調に応じて行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ツルハドラッグ大麻店の薬剤師にて薬の管理をしている。誤薬防止の為に薬の個数を個別に表記したり、薬の残量からの受診時期等の情報を共有し、薬情書をすぐに手に取れる場所に置いている。服薬前と服薬後には、常に2人で確認する体制にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ホーム庭に花や桜を見て季節を感じてもらい、個別には読書・編み物・歌・遠山の金さん、YouTubeを活用し体操や四字熟語や漢字の読み等を提供している。		

グループホーム 冬桜

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1F)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ蔓延防止の為に家族との外出は控えていますが、馴染みの理美容や定期的に通っている病院には個々に対応して頂いている。行事にて丘珠空港を見学、ホーム庭では生バンドの演奏やBBQを提供し楽しんでもらっている。	感染症の状況をみながら、百合が原公園や丘珠空港に外出している。車いすも移動しやすい広々とした庭には、季節折々の多種の草花が整備され大きな桜の木もあり、今後日常的に散歩や外気浴を行っていく意向である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出行事の際に、個々の希望に応じて本人が自身で選び、清算時には同行し一緒に支払いをする等できる事をできる限りで支援していたが、今はコロナ蔓延防止の為、自粛している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はコードレスを使用しているので、居室での会話も可能にしています。電話や手紙のやり取りも支援しやすいように工夫しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間のリビングには季節感のある作品や塗り絵を展示、大きな窓からは中庭の草花を楽しめます。玄関や階段、廊下に台所は清潔に保ち、証明は暖色や間接照明を使っています。大型エアコンや集中暖房で快適な環境で過ごせるようにしている。	大きな窓があり明るく広々とした居間に、ソファや食卓テーブルがある。利用者は日中のほとんどの時間を居間で過ごし運動や口腔機能訓練、脳トレを楽しむように行っている。廊下の端には別のソファもありゆっくりと過ごすことも出来る。観葉植物や草花を飾り季節感を感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間を2ヶ所設定し、テーブル・ソファ・TV・本箱等を設置し、ひとりでも仲の良い利用者同士でもいつでも自由に利用できる場になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はスペースに限りはあるが、馴染みの物を持ち込んだりしている(タンス等)。又、家族の写真や好みの置きものや飾りをしている。	居室には大きなクローゼットが設置されている。自宅から馴染みのテーブルやタンス、仏壇を持参し居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々のできる事を把握し都度声かけで行って貰っている(洗濯たたみ、洗濯干し、食器の片付け、食器やお盆拭き等)。トイレに表示を出して解かりやすくし、廊下とトイレに手すりを設置、段差を無くしバリアフリーになっている。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191000025		
法人名	医療法人中山会 グループホーム冬桜		
事業所名	グループホーム冬桜 2F		
所在地	北海道江別市大麻東31番地5		
自己評価作成日	令和5年9月12日	評価結果市町村受理日	令和5年10月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0191000025-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境に恵まれた住宅地に立地しております。近隣には銀座商店街があり各種医院、飲食店、小学校が隣接している地域になります。コロナの対応が2類から5類に変更になり、ホームとしては令和5年4月より面談室を利用し、面会の機会を確保しています。見学も随時受付ており、対応をしています。令和5年5月の外出行事で1Fは、丘珠空港まで行き飛行機を見てとても喜んでくれました。2Fは、百合が原公園に行き園内を散歩しながら花を楽しんでくれています。7月にはホーム中庭にてバンドの生演奏と歌を唄い昭和の曲を楽しまれています。9月には、ホーム中庭でBBQを各階で行いました。天気も穏やかでゆっくり楽しむ事が出来ました。例年であれば小学校との交流をしているが、昨年の10月に訪問予定をしていましたが、コロナの影響があり残念ながら中止となりました。室内では、クリスマス会や年末年始の行事、豆まきやひな祭り等の季節を感じて頂ける様にアクティビティや食事も工夫しています。ホームのリビングの壁に季節を感じて頂ける様に、季節毎やクリスマス、ハロウィン等の飾りつけを入居者さんと共に行っています。花壇にも力を入れ、ホームの中からでもお花を楽しめるようにしています。春には桜やチューリップにクロッカスが咲き、夏には百合やラベンダーに紫陽花、秋はコスモス等が咲き、他に薔薇やシャクヤクにマリーゴールド等も咲いてくれています。入居者さんには、普段の生活リハビリとして洗濯干しや洗濯たたみ、テーブルやお盆拭きに食器洗い等、職員と一緒に継続できるように支援しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和5年9月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営母体の理念として「大切な命を元気で楽しい命に」を掲げている。また、行動方針には5項目を掲げており、月2回のカンファレンスレシスの際に全員で読み上げて共有を図り、基本方針に沿った支援や実践に向け取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しています。中庭で桜の下コンサートやBBQを開催しましたが、以前であれば地域の方にも周知し参加して頂いていたが、5類にはなりましたが感染予防の為にホーム無いのみで行っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	令和4年秋に大麻東小学校の来訪を予定していたが、コロナ拡大の為中止、令和5年5月より運営推進委員会を対面で開催し、町内会の方や入居者さんの家族、地域包括支援センターの方にも参加頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は令和5年度から2ヶ月に1度の割合で再開している。入居者、入居者家族、包括、町内会に参加して頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	江別市と常に連絡を行っている。管理者にて、不明な点等は電話連絡を行い、色々な事を相談して意見を求めている。2Fには、生活保護の方がいるので受診連絡等を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム及び法人マニュアルを遵守している。身体的拘束適正化委員会を開催し、年間で4回以上は必ず開催している。又、読み合わせのマニュアルを作成し、2から3項目を毎日職員間で読み合わせし、意識を向上している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止については、医療法人中山会の介護福祉課にて委員会を立ち上げて進めている。研修でも毎年取り上げて職員の意識向上に勤めている。		

グループホーム 冬桜

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業は、利用している方は居なく、成年後見制度については、入居者で利用している方がおり、勉強の機会となっているがコロナの関係もあり郵送でのやり取りとなっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な1時間程をかけ、重要事項や契約書等の説明を行っている。又、ご家族での受診(訪問以外)別途かかる料金(リハビリパンや医療費、理美容等)の説明をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの意見は職員間でカンファレンス等を通じて共有し、ご家族からは個人ノートに記載したり、リーダー及び管理者に報告をしている。内容によっては、カンファレンス等で共有している。重要事項説明書に法人の窓口も設け(個人名)意見を述べやすい環境に努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人での会議をMYWebに記載、介護福祉課の会議は主にカンファレンスで周知し、意見等に関しては個別に面談等で話しをしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職務要件書を活用し、自己評価及び管理者からの評価を給与に反映している。実情に応じた勤務時間に対応する為、令和5年7月より勤務時間の変更をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人にて初任者研修、実務者研修、介護福祉士、認知症介護実践者研修、介護支援専門員の取得の為の、金銭的支援を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は、コロナ蔓延防止の為に他事業者との接触は控えている。法人の介護福祉課にて研修を行い、交流の場を設けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族等から本人の情報を頂けるように書面や電話等で出来るだけ情報を頂き、本人が利用開始しても安心できるように対応し、入居後は出来る限り本人とお話をして困っている事や不安を受け止めるように対応している。事前に面談等をしていたが、コロナウイルス蔓延防止の為に面談の回数は極力控えている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族から連絡や来訪があった場合には、できる限り時間を取りお話を聞くようにし、話を聞く環境を作り、話しやすいよう環境の提供に勤める事で信頼頂けるように努めている。コロナウイルス蔓延防止の為、電話でのやり取りを主としています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の相談内容、ご本人の状態を確認し、色々な環境を踏まえた上で適切な介護サービス等が受けられるように支援している。時には、他サービスを進める事もある。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯たたみ、調理等出来る範囲で手伝って頂き、その中で会話をしたり、学んだり、支えてゆく関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ蔓延防止の為に家族と共に行う行事は中止しているが、ケアプランの説明時や医療機関に受診する際にご本人の状況を伝え、本人にとってより良い状態への支援を共に行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ蔓延防止の為に知人との面談は、面談を利用しています。希望があれば、電話でお話をして頂いたりしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	申し送りや記録などから、入居者同士の関係を把握し、孤立することが無いように、職員が状況を見ながら中に入り支援をするように努めている。入居者さん同士の談話等、和やかに楽しんでいる姿も見られる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	定期的はこちらから連絡する事は無いが、連絡があった時には丁寧に対応し、パウロ病院の入院している方に関しては、時折面会をしている(現在は、コロナウイルス蔓延防止の為、面会禁止中)。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりのニーズにあった対応をし意思疎通がうまくできない方については、言語、表情、行動から把握しカンファレンス時に検討している。カンファレンスの話し合いで今後の対応について答えが出ない時は、都度本人や家族と話して次回に繋げている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し、入居者情報シートを家族に記入して頂いているが、家族がなく後見人なので詳しい情報が分からない方いる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状況や状態については、個人記録を主として1日2回の申し送り周知し、排便・入浴・体重・バイタルに関しては確認しやすいように別にチェックシートに記載して、共有を図っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個人記録に記号を記載しケアプランと連動している。月に2回のカンファレンスで日々のモニタリングを行い、三ヶ月に一度の割合で書面に起こしている。本人には日々の生活からと、家族からは来訪時に状況報告と意見を頂き、介護計画に反映している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の行動や心理変化を毎日申し送り、月2回のカンファレンスの際にモニタリングを行って情報を共有し、見直し、反映、実践へとつなげ、ケアプランに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主に、突発的な発熱時等家族に連絡を行い対応して頂くが、状況及び状態によってホームの人員で対応、家族が遠方の方や車椅子で移動が必要としている方には、外部サービスを利用した受診も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源として訪問理美容(町内)の利用、薬の処方をツルハドラッグ大森店の訪問、買い物もツルハドラッグ大森店やトライアル(町内)、医療に関しても大森高町クリニック、大森内視鏡内科クリニック、ないとうクリニック、いとう耳鼻咽喉科を状況に応じ受診している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時より主治医の確認をし、継続できるように家族と共同している。体調不良時や転倒時にも家族の意向を踏まえて、受診の検討をしている。状況に応じて状況を書面にし、情報の共有を図っています。		

グループホーム 冬桜

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気づいた事、相談したいことを週1回の訪問看護師に確認して頂き、適切な指示を頂いている。状況に応じ夜間もアドバイスを頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、ホームでの生活状況の報告を医療機関に合わせて書面や口頭で行っている。入院中には、定期的に訪問又は電話にて連絡し、退院に向けては情報を頂き、話し合いを行いながらホームの体制を整えて退院して頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明時や重度化の説明を入居時に行っている。終末期は行っていないので、要介護4又は要介護5になってからは折を見て家族に状況を説明し、ホームの次の事を考えて頂き、本人と家族が納得できるように支援を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者の急変、事故発生時にはLINEワークを活用し、対応している。普段の連絡でもLINEワークを活用している。玄関の見やすい所にAEDを設置しいつでも使いやすく、機能点検も確認しやすくしている。医療法人中山会では、AEDの研修を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定避難訓練を年に2回行っている。江別消防署や丸興商事と共に訓練を行い、ベルを鳴らし緊急通報も行っている。他、江別市のシェイクアウト訓練にも参加している。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間で入居者の話をする場合には、居室の番号を利用するなど入居者及びホーム外の方に分からない様に配慮を行い、個々の人格を把握し個別に応じた対応でその方を尊重した声掛けを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者さんの表情、仕草、言葉から思いを読み取り、安心して話せる雰囲気を作り、個々に応じて選択肢を増減してご自分で決められるように対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者さん一人ひとりのペースや体調を考慮し、出来ることをできる範囲で取り組んでもらっている。ケアプランにも反映して統一したケアを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしさを大切に、髪型、おしゃれに合わせ、朝の更衣時や入浴時の着替えなどは出来る限り本人に選んで頂き、可能な方にはご自分で整容して頂けるように支援をしている。		

グループホーム 冬桜

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食品提供の業者を利用し、手づくりと湯煎の食事を提供している。誕生会は入居者に食べたい物を伺いメニューに取り入れ、特別メニューで提供している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食品提供の業者を活用し、バランスの取れたメニューで提供している。水分も、しっかり取れるように声かけや支援を行い、摂取量も確認し統計を出している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨きの声かけを行い一人ひとりに合わせて仕上げ磨きや入歯の手入れを行っています。訪問歯科と密に確認を行いながら歯磨き等の支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者全員の排泄を確認し、必要な方には声かけ支援を行っている。残存機能を生かすために車椅子の方でも手すりに捕まって頂いたり、歩行時に介助が必要な方でもなるべく歩いて移動して頂いています。ズボンの上げ下げや上着を押さえてもらう等、出来る事は協力頂いています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	申し送り等で排便の確認を常に行っている水分をしっかりと摂って頂くために、飲料水も工夫し提供している。毎日のアクティビティや廊下歩行運動を行っている。医師や看護師に相談し、必要に応じ下剤調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個別入浴にて対応し、本人のタイミングに合わせて入浴している。楽しく入浴されるように支援し次につながる様にしている。異性介助に抵抗ある場合は、日を替えて入浴して頂いている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の睡眠パターンを把握し、良質な睡眠を確保するよう努め、疲労の程度に応じて休息を促し、心身を休める様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ツルハドラッグ大麻店の薬剤師にて薬の管理をしている。誤薬防止の為に薬の個数を個別に表記したり、薬の残量からの受診時期等の情報を共有し、薬情書をすぐに手に取れる場所に置いている。服薬前と服薬後には、常に2人で確認する体制にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別に出来る事を続けられるように支援を行い、役割を持ち感謝を伝えることにより、喜びを感じてもらっている。パズル等も行い達成感を感じられるように支援している。		

グループホーム 冬桜

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2F)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ蔓延防止の為に家族との外出は控えていますが、馴染みの理美容や定期的に通っている病院には個々に対応して頂いている。行事にて丘珠空港を見学、ホーム庭では生バンドの演奏やBBQを提供し楽しんでもらっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族にも確認しながら、希望の物があれば職員が購入しお渡ししている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はコードレスを使用しているので、居室での会話も可能にしています。電話や手紙のやり取りも支援しやすいように工夫しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間のリビングには季節感のある作品や塗り絵を展示、大きな窓からは中庭の草花を楽しめます。玄関や階段、廊下に台所は清潔に保ち、証明は暖色や間接照明を使っています。大型エアコンや集中暖房で快適な環境で過ごせるようにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間が2か所あり、共にテーブルとイスのセットの他にソファを設け自由な時間を過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はスペースに限りはあるが、馴染みの物を持ち込んだりしている(タンス等)。又、家族の写真や好みの置きものや飾りをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々でできることをそれぞれにして頂き(床のモップがけ、洗濯干し、たたみ、食器洗い、片付け等)ご本人の体調に留意しながら行って頂いている。またトイレには表示し居室にはネームプレートを付けている。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム冬桜

作成日：令和 5年 10月 10日

市町村受理日：令和 5年 10月 10日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	23	アセスメントシートのうち特に、B-2シート(生活歴)および、B-3シート(暮らしの情報)について、利用開始後に把握した情報を追記したり、変化の応じて更新することを期待したい。	変化があった場合や追加の情報があった場合には、B-2シートやB-3シートに書き込みを行い、介護計画書の更新につながるように工夫する。	担当者会議等、年に1回の割合でフェイスシート等の見直し時と一緒に見直し、赤いペン等で分かりやすく追加項目を記載する。	6ヶ月
2	26	日々の記録について、計画目標に関する支援を行った場合は、目標番号を併記したり、目標に関する気づきや利用者の変化を意識して記録することを期待したい。	記録の際に、介護計画書を意識し、関連する支援を行った場合には、目標番号を併記し、目標に対しての気づいた事や変化を意識して記載する。	日々の記録(暮らしのシート)に介護計画書からの目標番号を記載し、介護計画書と日々の記録を意識し、介護計画書の更新時等に活用する。	6ヶ月
3	35	地域の防災ガイドブックなどを参考にして、地震対応マニュアルの作成を期待したい。マニュアルに沿って、初期対応やケア場面別の対応について定期的に話し合う事も期待したい。	地震時のケア別対応について、職員間で話し合い、記録をマニュアル等に綴り定期的に確認する。	市等で使用している一般的な地震発生時の対応等を活用し、ホームとしての行動を追加する等し作成する。	6ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。